

転移性脊椎腫瘍に対する姑息的手術における合併症、それに関連する因子の調査に関する臨床データの研究利用についてのごお願い

研究の概要・背景

我が国における癌患者新規発生数は年間およそ 101 万人と言われ、国民の二人に一人が生涯でがんと診断されています。脊椎転移はがん患者の 30%に発生し、5~10%の患者に神経圧迫に伴う神経症状が出現されるとされ、その結果 ADL、QOL を低下させ、PS の低下による治療方針の制限から予後の悪化にも関与します。幸い最近の転移性脊椎腫瘍に対する姑息的手術の成績は悪くないとされていますが、その合併症は約 20%と報告されており、一般的な脊椎手術に比しその発生率は高いです。手術に伴う合併症により術後化学療法や放射線療法の再開や開始に悪影響を与えうることから、避けうる合併症は避けなければならないと考えています。

そのために、合併症に関与する因子が明らかになり、それに対する対策が奏功すれば、脊椎転移手術を受ける患者さんにとって福音になると考えています。

試料・情報の利用目的・方法（他機関への提供を含む）

カルテ（診療録）と画像所見（レントゲン、CT、MRI、骨シンチ、PET-CT など）から年齢、性別をはじめ診断や検査結果、治療の経過中の有害事象などについて登録し、解析します。なお、本研究は通常の臨床において診療録に記載されている情報のみを用いて行う観察研究ですので、患者さんに本研究のために特別な検査や処置をお願いすることはありません。

対象者・期間

当院で行われた転移性脊椎腫瘍に対する手術症例を対象とし、2014 年から 2024 年までを予定しています。

データ利用のごお願いと申し出について

これらの臨床データは通常の診療で記録されたもので、患者さんに新たな負担はありません。また、個人を特定できるような状態でデータを使用することはありません。本研究の目的と、臨床データ利用に関するご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、本研究に関するさらなる説明をご希望の方、また、本研究において臨床データの利用を希望されない方は下記問い合わせ窓口にご連絡ください。研究不参加を申し出られたとしても、患者さんが不利益を受けることは一切ありません。

【お問い合わせ先】

長岡赤十字病院

担当医師：三浦一人 脊椎脊髄外科

〒940-2085 新潟県長岡市千秋 2-297-1

電話：0258-28-3600(代)、FAX：0258-28-9000(代)